



これからの子どもたちのために

新しい学習指導要領に変わり、私たちの指導の仕方や子どもたちの学び方が変化してきました。評価の観点が変わったことで、あゆみについても年に一回のお渡しになりました。chromebook が配付され、子どもたちの学んでいく手段がより広がっているのを感じています。(1年生は5月中に配付します) 保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、学校でも新しいことに取り組むことができます。ありがとうございます。

文部科学省が保護者の方へ向けてのリーフレットを出しています。この中には学習指導要領を改訂した意図や子どもたちの学びがどのように進化していくのかも記載されています。ぜひ文部科学省のHP から見てください。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/11/1413516_006.pdf



家庭学習について

今曙小学校では大きく3種類の宿題を出しています。これまでの宿題と違うなと感じている方もおられるかもしれません。もしかしたら宿題を見て「少ないのではないかな?」や「チャレンジよりプリントを増やしてほしい。」という気持ちもあるかもしれません。しかし、これからの社会を生き抜くために、子どもたちが自分で学び、発信していく力が求められています。この力を子どもたちに付けていくためには、学校の授業を変えていくだけではなく、家庭学習の変化も必要不可欠になります。

学校の授業では、子どもたちが自分で考えたり調べたりする取組を行っています。子どもたちは自分たちの疑問を先生に聞いて答えを教えてもらうのではなく、その疑問を解決していくための方法も学校では指導しています。家庭学習では、その力を実践する取組としてチャレンジ学習を実施しています。

曙小学校の3種類の宿題について子どもたちと一緒に確認をしてください。

※低学年はまだ始まっていないものもあります

曙小学校の宿題①②③

①知識・技能を高める宿題

→漢字や計算ドリル、プリント等から一つ

こちらはイメージが浮かびやすいと思います。授業でしたことを定着するために取り組んでいます。毎日漢字と計算がどちらもあるわけではありません。お子さんの意欲に応じて、プラスαの取組ができそうなときは、チャレンジノートや漢字ノート、タブレットを活用して主体的に学習ができるように声をかけてください。

②主体性をもって取り組める宿題

→チャレンジ学習

こちらは自主勉強や、自主学习とも呼ばれています。先ほどの説明でもあった自分で学ぶ力を育てていくための取組です。自分が得意なことをもっと伸ばすために取り組んだり、苦手なことを克服するために取り組んだりすることが考えられます。

また、授業で習ったことをもっと知りたいから調べてまとめたり、生活の中にある身近な疑問を解明したりと子どもたちの自分で考えて学ぶ力を伸ばすために取り組んでいます。

1年生からいきなり自分で考えてすることは難しいので、学校でしっかり指導を行ってから実施していきますのでご安心ください。また、2年生以降でも毎日のチャレンジで何をすればよいか悩んでいる子どもたくさんいると思います。この悩むこともとても大切な力になっていると思います。学校では4月の最初に、家庭学習のできることの例が載っている一覧を配付しています。お家で悩んでいる姿を見かけたら「コツコツコースの表から選んでみたら」などと声をかけてください。

自分で学ぼう～チャレンジ～

家庭学習

自分で調べ、自分で決め、自分で学びも覚める力を子どもたちに
 身に付けさせる「チャレンジ」という宿題にこれから取り組んでいきます。

コツコツコース	
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○新しく習った漢字の練習 ○新しく習った漢字がつく言葉の練習 ○計算練習 ○教科書の問題の復習 ○今日学習したノートをうつして整理する ○明日する勉強の予習
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ※低学年メニューに加えて ○言葉の意味調べ ○ことわざ・慣用語調べ ○教科書の問題の復習 ○社会の予習 ○都道府県、県庁所在地のインプット学習 ○理科の実験の手順のおさらいや実験器具の名前の復習 ○今日1日で学習したことをまとめる ○今日学習したノートを整理して、よりきれいにまとめ直す ○テスト勉強 ○テストで間違えていた問題の復習
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ※低・中学年メニューに加えて ○古文、漢文の視写 ○苦手な部分を選択しての復習 ○社会で出てきた人物をより詳しく調べる ○英単語を書く練習 ○英語の文章を書く練習 ○問題作り

自分で学ぼう～チャレンジ～

自分で調べ、自分で決め、自分で学びも覚める力を子どもたちに
 身に付けさせる「チャレンジ」という宿題にこれから取り組んでいきます。

ジャンプアップコース	
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○再生のり（日記） ○まきわり練習 ○まきわり練習で調べた生き物ノートを作る ○けん玉の練習 ○家で作れるおもしろい食べ物
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○低学年メニューに加えて ○四字熟語調べ ○四字熟語調べ ○新聞記事の感想文 ○新聞づくり ○理科の授業調べ ○理科の授業調べ ○理科の図りの実験調べ ○理科の図りの実験調べ
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ※低・中学年メニューに加えて ○読書感想文 ○おすずめの年表紹介文 ○問題づくり（長い時間をかけて得意な課題） ○私の新聞記事調べ ○新聞の図解調べ ○外国文化調べ

③自分で考えて相手に表現する宿題

→アウトプット

こちらは学校で学んだことや気付いたことをお家で説明するという宿題です。文部科学省からもこの取組の大切さがリーフレットに紹介されているので、下に載せています。毎日の1～3分の積み重ねが子どもたちの成長に繋がります。ぜひお家でも学校での学びを聞いてください。また、学年や授業の内容によっては音読になることもあると思います。

お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。

保護者の皆さまの働きかけが、
 子供たちの「生きる力」を育む
 大きな原動力になります。
 保護者の働きかけがある
 子供の学力は高いという
 傾向があります。

例えば…

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。

（平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究）